



表紙/2018年度新規採用職員 辞令交付式(会議室にて)

理 念

私たちは、赤十字の理想とする人道・博愛の精神にもとづいて、よりよい医療を提供し、皆様に信頼される病院をめざしています。

基本方針

1. 地域医療の推進と救急医療の充実に努めます。
2. 患者様の権利を守り、その意思を尊重した医療を行います。
3. 地域の皆様の健康増進と疾病予防に努めます。
4. 清潔、快適で、やすらぎのある環境づくりに努めます。
5. 常に研鑽を重ね、資質・技術の向上に努めます。

Pick Up

- ・ バングラディッシュERU視察を終えて
- ・ 隣がん早期診断プロジェクト参入について
- ・ 新入職員紹介



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

清水赤十字病院

〒089-0195 北海道上川郡清水町南2条2丁目

TEL0156-62-2513 FAX0156-62-4460

URL <http://www.shimizu.jrc.or.jp/> Mail rcssoumu@shimizu.jrc.or.jp





「社会人として医療人として、 そして赤十字人として」

病院長 藤城 貴教

新入職員の皆さん Welcome to Red Cross !

2018年度、当院は新任の矢田事務部長と大沼看護部長を迎えてスタートを切りました。

近年、世界情勢はめまぐるしく変化し、明日は何が起こるか予想もつかない時代です。隣国はミサイルを花火のように打ち上げ、超大国はこぞって自国優先主義を強化し、ナショナリズムを隠れ蓑にした帝国主義や覇権主義の再来を思わせるような世の中です。自国はと言いますと、平和主義と勤勉な国民性により培われてきた”技術大国ニッポン”が衰退、人口が激減し、職人気質が消えゆくなかで今度は中途半端な観光立国を目指して“迷走”しております。

さて、この4月は6年に一度の医療介護同時改定が行われましたが、世界に類を見ない我が国の少子高齢化に対し国家がどのような方針で臨むかを明らかにしており、慢性期医療へのシフト、在宅医療介護の促進、そして医療介護の連携などが具体的に示されています。しかし、医療資源の地域偏在や医療者の働き方改革は遅々として進まず、霞が関と地方の距離を実感する次第です。

これらの潮流の先には何があるのでしょうか？私は“日本の姿の適正化”だと思います。言い換えますと、日本という小さな島国の“身の丈に合った日本のあるべき姿”を模索しているのだと思います。明治維新以来、富国強兵による欧米化を目指した日本は、敗戦と高度経済成長それにバブル景気を経験しましたが、どこかで少しだけ道を間違えたらしく、何を大切にしていくなかさえ忘れてしまったようです。国全体が、おしなべて都市化を目指すことは既定路線であり、交通網の整備により地域差は解消されつつあると言われますが、逆に地方都市や地域の文化は衰退する一方で、北海道に生まれ育った我々ですら先住民や開拓者であった父祖が培った地方文化を忘れています。北海道十勝らしい地域医療・医療人・生き方とはどのようなものなのか、大局観に立って考えつつ発信していくことが必要なのです。そしてやみくもに都会を目指す（若い）人たちに対して“地域で生きる機微”を示し、それに触れさせていく使命があると思います。今年も多くの医学生や研修医が当院で地域医療の実習を行います、病院をあげて医学教育を担っていきましょう。

今年も頼もしい新入職員が5名仲間に加わり新人研修に奮闘中で、社会の大きな期待を背負っております。我々は社会人として医療人としてそして赤十字人としての役割を彼らに伝え、見本を示し、或いは教わりながらともに成長していくことが必要です。先輩からは経験を、そして後輩からは新鮮な感覚を学びつつwin-winの関係を築くことができれば、自ずと良い人材が育つと信じています。

“Go for broke !” ハワイ出身の元関脇、高見山大五郎の座右の銘





事務部長就任のご挨拶

事務部長 矢田 幸政

この度、4月1日付で清水赤十字病院事務部長を拝命し着任いたしました。

当院は、西十勝の基幹病院として急性期から回復期・慢性期まで幅広く対応するとともに、地域連携や在宅医療など地域包括ケアシステム構築の軸になっている病院であると感じましたが、災害救護においては、これまでも多くの要員を積極的に派遣し、特に一昨年台風10号災害では、被災地でありながら長期にわたり救護活動に当たられたことが強く印象に残っています。

また、個人的には、故金野事務部長が会計課長であったころから、よく声を掛けていただき、その先輩の病院で働けることも嬉しく思いますし、職員の皆様が明るく誠実に仕事をされており、その一員になれることを誇りに思っています。

しかし、一方で医師・看護師・コメディカルと云った医療スタッフの確保が容易でないことや、施設・設備の老朽化、外的要因としての診療報酬改定など、病院経営を取り巻く課題が山積しており、改めて責任の重さを感じております。

つきましては、職員の皆様には、明るく働き甲斐のある職場を築くため、今後ともご指導・ご鞭撻と、気兼ねなく様々なご意見を賜りますようお願い申し上げます。

また、地域の医療・福祉施設並びに各自治体・各団体の皆様には、安心・安全な医療を築くため、これまで以上にご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくお願いたします。



看護部長就任のご挨拶

看護部長 大沼 まゆみ

皆様には新年度を迎え、お忙しいことと存じます。

この度、清水赤十字病院看護部長を拝命いたしました大沼まゆみです。不束者ですが、皆様のお力添えを頂き、職務を全うする所存でございます。

前任の佐藤部長は、清水赤十字病院の看護部を築き上げ、職員の皆様と歴史を創りました。その歴史を理解し看護に対するお考えを受け継ぎ、職員の皆様と一緒に輪を大切にしながらさらに看護部を発展させることが役割であると考えています。

患者さんにご家族の方々の思いに寄り添う看護を目指し、また医療と介護が途切れることなく連携を図り、地域の方々の健康の維持・増進に努めてまいりたいと思っています。

患者さんやご家族の最善を目指しチームの一員として、認め合い助け合う組織風土をさらに発展させ日々の看護実践を大切にしていきたいと考えております。

私は、浦河赤十字病院で32年間外科混合病棟、手術室、透析室などを経験、感染管理認定看護師としての看護実践、北海道医療大学認定看護師研修センターの教員として2年間学ぶ機会をいただきました。臨床と教育を経験させていただいたことに感謝して今後の看護実践に役立てていきたいと考えております。

清水赤十字病院の発展は、職員の皆様の力があってこそです。一人一人を大切に自分の意見が言えるボトムアップな組織でありたいと考えておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いたします。





看護部長退任のご挨拶

佐藤 美恵子

40年の長きに渡り赤十字と言う大きな組織の中、守っていただき、多くの事を学ぶ事ができました。ありがとうございました。

昭和50年4月に旭川赤十字高等看護学院に入学し、臨床実習では患者さんの笑顔やありがとうの言葉に励まされ、毎日のレポート提出や先輩の厳しさに、泣き笑いしながら同級生たちと過ごした日々。

私が入職した40年前は、看護師数も少なく、家族の方々が24時間の付き添いを行い、炊事場で、笑い声が聞こえる朝は、今日は大丈夫と毎日の検温に回った事を思い出します。

昭和62年に3歳の娘を清水に置き、東京で1年間、研修生活を送りました。

研修所では、65人の仲間たちと共に多くの事を学び、その学びを元に、清水で、副部長になった平成5年にようやく基準看護を取得する事ができました。

患者の急激な高齢化に伴いながら、医療安全・感染管理に係る人材育成と体制作り、退院支援や訪問看護など、現在の看護部の形を作り上げる事が出来たのは、その時々病院長をはじめ、他職種の皆様のご協力や看護職員の頑張りに支えられての賜物と感謝しております。

多くの方に支えられて、今日を無事に迎える事ができました。

私の後任になります大沼さんにおきましてもご協力とご支援をお願いいたします。

最後に、病院の益々のご発展と皆様のご健康・ご多幸をお祈り申し上げ、退職のご挨拶いたします。長い間、本当にありがとうございました。



佐藤前看護部長退職セレモニーの様子

平成29年度赤十字災害救護訓練に参加

今回、H30.1.27～28の2日間、札幌市立旭小学校にて、自身として2回目の災害救護訓練だったのですが、「厳冬期に札幌市を震源とする最大震度7を記録する大規模な地震が発生」との想定で各救護班が避難所でのトリアージ及び、アセスメントを行う訓練でした。

初日、机上でのトリアージ訓練を行い以前教育された事を思い出しながら、また、避難所の状況を把握するアセスメントについて学びました。

夜間には、米軍も使用している厳冬期においても迅速に展開可能かつ、コンパクトに収納できる「ドラッシュテント」の組み立てを見学しました。（寒かった～）

翌日には清水救護班は先ず、避難者役で各自前日にどのような状況で避難所に来ているのか知らされており皆、構想を練って本番に臨みました。事後、救護班役に交代し釧路チームの避難者役が居る救護所へアセスメント及びトリアージを行いました。川村Dr.以下、全員が各々の任務を理解し他の救護班よりも連携もスムーズに行えた様に感じました（チョット手前味噌気味???)。

これも日々の救急患者やトムラウシ遭難者、最近では国道274号でのバス横転事故の受入れ等の経験が生かされているのではないのでしょうか？

今回の訓練を通じて日頃から少しでも危機意識をもって日々の業務に臨むべきであること、また台風10号での水害の際には実際に被災者になった経験を忘れずに患者さんに接して行きたいと感じました。

更に、本年9月には当院主催の赤十字災害救護訓練が清水町で行われますが、これは当院の実力をアピールする絶好の機会ですので職員一丸となって訓練を成功させましょう！！

（首藤 竹司 記）



厳冬期避難所展開・宿泊演習2018 in 北見

今回、2018.1.13～14の2日間にわたり北見で行われた訓練では、厳冬期での被災者がどのような状況に置かれているかを実際に体験することが出来ました。内容としては、仮設トイレや簡易トイレの使用・段ボールベッドやシェルターを使用した就寝・車中泊体験・エコノミー症候群の講義・各種グループ討議などを行いました。

段ボールベッドは第1世代～第3世代まであり、第1世代では組み立てが大変ですが、第3世代では手順が少なくなり組み立てやすい物になっていました。実際に段ボールベッド上に寝てみると、思ったよりも固すぎず寝やすかったため、しっかりと睡眠をとることができました。他にもシェルターは天井が低くなり、適度な暗さもあるので安心して就寝できる環境になっていました。

このように日常の生活では体験のできない事を実際に行うことができたので、今後災害救助に行った際に被災者の気持ちを考えながら行動することや、その場で率先して行動することに活かしていきたいと思います。（米地 亮 記）



バングラディッシュERU視察を終えて

病院長 藤城 貴教

お正月が明けて間もない1月12日から17日まで、バングラディッシュ南部避難民救援事業のため同国南部コックスバザールに展開している日赤ERU視察団の一員に加えていただき現地を訪問する機会をいただきました。往路は厳寒の帯広から羽田へ、夜の空港で一行6名が集合し本国際部の佐藤救援課長より1時間半のブリーフィングを受けたのち深夜便でバンコクへ飛び、およそ5時間のトランジットを経てバングラディッシュの首都ダッカへ到着。とてつもなくスローな入国審査の疲れも見せない一行は宿に到着後すぐダッカ市街へ、街角のバザールで大きな牛や山羊や家禽類が生きたまま売られている動物園さながらの精肉店に目を丸くし、もうもうと立ちこめる匂いに息を潜めた後、国際赤十字赤新月社連盟現地事務所代表のAzmat Ulla氏と会食し情報収集を行いました。翌朝国内線でコックスバザールへと飛んで日赤ERUチームと合流しましたが、この朝はイスラムの大きな宗教行事による交通混雑が予想されるため早朝4時半にゲストハウスを出発、霧深くむせるような冷気のダッカ空港で待つこと8時間、漸く機上の人となりました。到着早々この国の洗礼を受けた印象です。

私自身2014年まで日赤ERU要員を務め、アジア、アフリカ、中米などで経験を積ませていただきましたが、フィリピンのハイアン台風被害の救援活動を最後に自院のやむを得ない事情により国際活動から退きました。今回の視察において日赤の国際救援活動がどのようなものであるか俯瞰し、自身に何をもちたらしどう変容させたかを省察することが個人的にはひとつの目的でした。視察団は見澤泉事業局長を団長に、日本赤十字社医療センターの本間之夫院長、名古屋第二赤十字病院の石川清院長、福岡赤十字病院の寺坂禮治院長そして国際部の佐藤展章救援課長と私の6名です。

事前情報と現地の様子を見る限り、この度のバングラディッシュ南部難民支援活動は過去のERUと比較してその規模も困難さもひととき大きく複雑な歴史的・政治的背景から終わりの見えない長い迷宮の様相ですが、日赤の要員は連盟傘下において“Japan quality”を目指した実に細やかで丁寧な介入を行い、受益者はもちろん地元政府、バングラディッシュ赤新月社や国際赤十字赤新月社連盟からも厚い信頼を得ておりました。また近年のERUは他国赤十字社とのジョイントによりチーム内も国際色豊かで、現地スタッフはもちろん香港やオーストラリア赤十字社とのジョイントもあり、また日本からの派遣者も新しいメンバーが年々増えて拠点病院以外にも新しい人材が育っていることを感じます。



コックスバザール難民キャンプを視察する藤城院長



国際赤十字赤新月社連盟バングラデシュ代表部にて



連盟・バングラデシュ赤新月社コックスバザール
現地事務局での様子

今回の救援活動は対象人口自体が85万人前後と非常に多い上、ミャンマーとバングラデシュの二か国を巻き込んだ政治的に難しい問題が横たわっているため救援活動の方向性や規模それに期間を決める上での大きな障壁が多々あります。実際我々が訪問した時点でも毎週1000人を超える避難民の流入が続いており現地の人々と避難民の双方にストレスが蓄積しつつあってまだまだ事態の全貌が見えていない印象でした。日赤の主な活動は難民キャンプ内で仮設診療所を設置して傷病者の治療にあたるほか、キャンプ内の4か所でモバイルクリニック（訪問診療）を行い医療サービスにアクセスできない傷病者の対応です。更にPSS: psychosocial supportの一環として子供達に遊びと学習の場を提供し、流行するジフテリア患者の追跡調査を行うなど、日赤の担当する基礎保健分野の枠組みいっぱい活動の幅を広げ単なる医療支援にとどまらない広い視点で取り組んでおりました。また医療の後方支援を担うノルウェー・フィンランド赤十字社の病院ERUと要員に宿泊と食事を提供するデンマーク赤十字社のキャンプERUも見学させていただきました。

一方、我々視察団一行は自施設職員の逞しい姿に深い感銘を覚え、途上国の現状やイスラム社会の在り様に戸惑い驚きかつ楽しみ、2日半にも及ぶ長い禁酒の夜をしみじみとそして粛々と過ごしました。帰路、バングラデシュ赤新月社のHuq事務総長と面談のあとレストランに駆け込み旅程最後の夕食をとった際、イスラム圏では希少な冷たいビールを口にしたら刹那“いやあ、腹わたにしみわたるなあ”と唸る寺坂先生に誰もが無言で頷き、“この時代の日本に生まれた我々は世界一幸せである”という結論にワインで乾杯して旅を締めくくったのであります。

さて最後に私の個人的な目的である“日赤の国際活動は自身に何をもちたらしどう変容させたか”を述べます。国際活動においては日々刻々と変化する情勢をリアルタイムに捉え分析し常にジレンマを感じながら、あらゆる人々と協調しあるいは競争し、多様な事象に触れつつ考えそして常に前に進む“勇気”を学んだのだと思います。そして、“誰かがやらなければいけないが誰もがやりたくないことを誰よりもスマートにやり遂げるプロフェッショナリズム”を身に付けることが出来たような気がします。今の私が担う地域医療においてもまさに同じ覚悟とスキルが必要とされています。

人道・公平・中立・独立・奉仕・単一・世界性という赤十字の掲げる7つの原則は、今回の事業の様に多くのジレンマを抱えた問題にこそ対応すべき使命を明言していると実感できる貴重な6日間でありました。

膵臓癌早期診断プロジェクト参入について



消化器内科副部長 川村 雄剛



膵臓癌は現代医療をもってしても予後不良の癌であり、病変が見つかった時には治癒する事が困難であることが多いのが現状です。TS-1やGEM（ゲムシタビン）などの従来の化学療法に加え、2013年以降はFOLFIRINOXやnabPTX（パクリタキセル）を用いた化学療法が承認され、膵臓癌に対する治療効果は上がりましたが、満足出来る成績とは言えません。

膵臓癌を治癒するためには、いかに切除できる早期癌を発見できるかに尽きます。以前は2cm以内で見つけることが目標でしたが、現在は1cmを境に予後が大きく変わる事が示されており、1cm未満の腫瘍を発見することで膵臓癌の治療成績を上げる必要があります。例えば1cm未満で切除できた症例では5年生存率が80.4%と長期生存する予後が示されている事からも、その重要性がわかります。

しかし、1cm未満の腫瘍はほとんどが症状なく存在しており、拾い上げ診断をしていくことは困難です。そのために高リスク群の患者や膵嚢胞や膵管拡張を疑った患者を集約し、定期的なフォローアップすることで、その発見につなげていくことが望ましいのです。それを実践したのが尾道医師会であり、尾道市民病院・尾道総合病院を軸とし、近隣の開業医と連携して患者のフォローアップを行い、膵臓癌の早期発見に努めた尾道早期膵臓癌プロジェクトです。このプロジェクトにより早期膵臓癌の発見が増加し、尾道では膵臓癌の5年生存率は全国平均に比べて約1.5倍の約20%という結果を残しています。

これに習い、全国でも膵臓癌早期診断の活動が活発化し、今回十勝でも膵臓癌の早期診断に向けプロジェクトが立ち上げられました。帯広に比べ、当院の医療圏である清水町・新得町・鹿追町はこれまで膵臓の精査を受ける機会が少なかったのですが、小生が清水赤十字病院に赴任し、超音波内視鏡検査（EUS）を導入したことで、膵臓に対する精査が可能となりました。とは言っても、1cm未満の膵臓癌を見つける事はたやすいものではなく、高リスク背景の拾い上げや継続したフォローアップに基づいて発見が可能となってくると言えます。

当院医療圏における膵臓癌の早期発見と治癒率の向上を目標にかかげ、十勝全体の膵臓癌死亡を減少できるように努めていきたいと思えます。

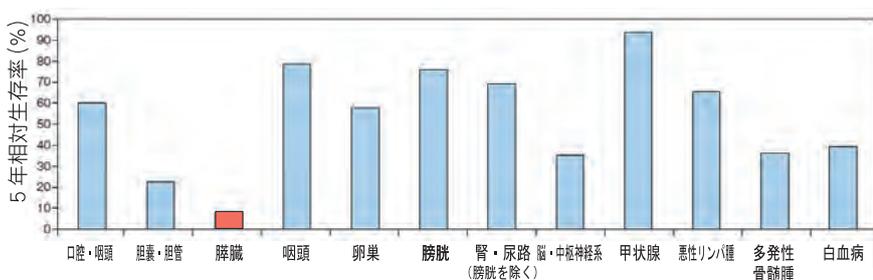


表1 詳細部位 5年相対生存率

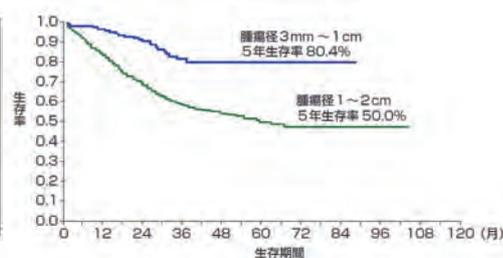


表2 腫瘍の大きさ別の5年生存率

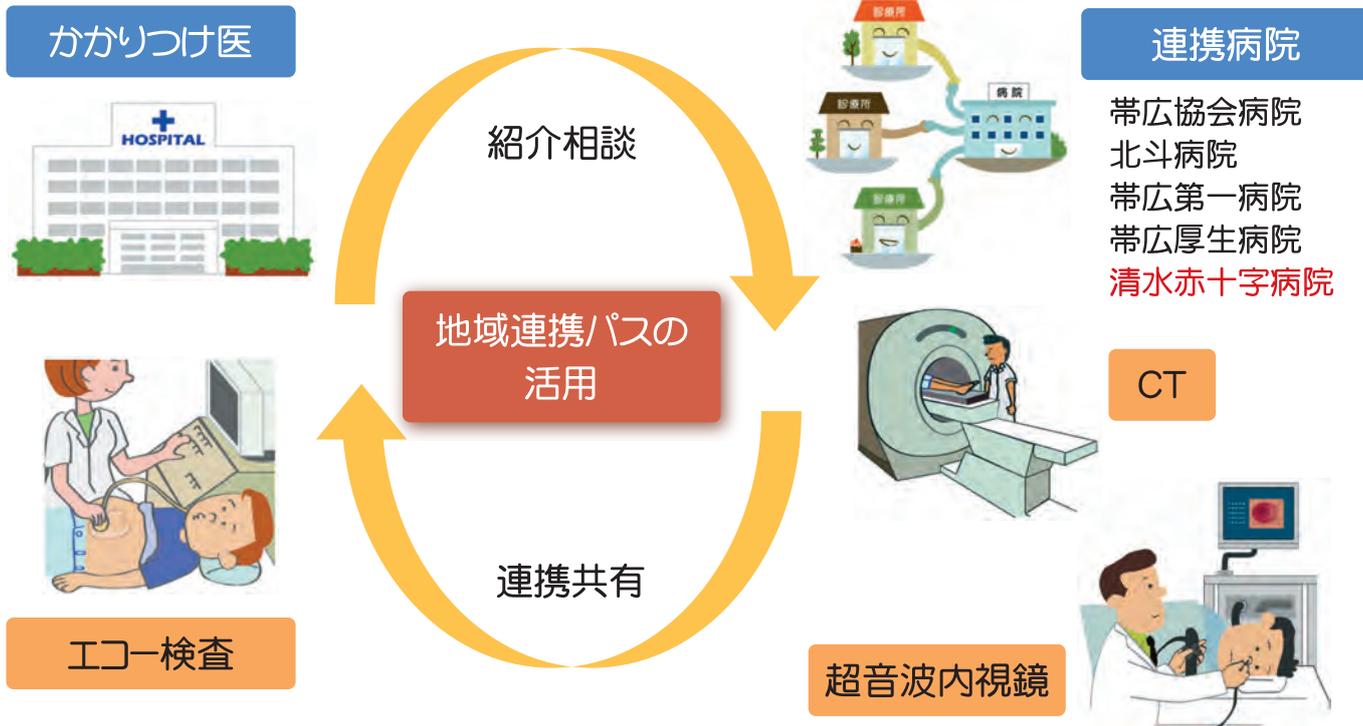
引用：表1 がんの統計'17 (公益財団法人 がん研究振興財団)

表2 すい臓癌診療ガイドライン (日本膵臓学会)



小さな膵がんを見逃さないために

帯広市医師会は膵がん早期診断プロジェクトを開始しました



膵がん早期発見チェックリスト

項目	内容	チェック
①	原因不明の上腹部の痛み、背中への痛みがある	
②	膵がんにかかった人がご家族にいる	
③	急性膵炎、慢性膵炎と診断されたことがある	
④	1日3合（ビール1.5L）程度飲酒する または 少量でも休肝日がない	
⑤	糖尿病を発症してから3年以内である	
⑥	糖尿病の急速な悪化がある	
⑦	健診等で肝臓・膵臓の酵素の値が上昇している	
⑧	健診等で「膵のう胞」診断されたことがある	
⑨	腫瘍マーカー（CEA、CA19-9）が高い	

1つでも当てはまったらご紹介ください

担当 消化器内科副部長 川村 雄剛



清水赤十字病院 地域医療連携課

☎(0156)-62-2513

十勝清水町の食材を使った体にやさしい乳(ニュー)和食「ミルク豚汁」

乳(ニュー)和食とは、「しょうゆ、みそ、しお等の調味料」を減らし、乳製品が持つうま味やコクを活かして美味しく仕上げた減塩料理のことです。

和食(わたしたち日本人の食習慣)の弱点を牛乳がカバー!



和食は栄養バランスが良く、健康的な食事といわれていますが、食塩が多くなりがちで、カルシウムが取りにくいのが弱点…。

牛乳の「うま味・コク」や「豊富なカルシウム・たんぱく質」は、この弱点をカバー!

女性や働く世代には「むくみ予防、美肌、低GI」、お子さんには「丈夫な骨や筋肉の素」、お年寄には「転倒後の骨折予防」になる優秀な食品です。

使用する食材・分量 (4人分)

豚もも肉120g、玉ねぎ中1個、人参中1個、じゃがいも中2個、牛乳200ml、みそ40g、長ネギ1/4本、粉チーズお好みで少々、和風だし(顆粒)2g、水500ml

栄養成分 (1人あたり)

エネルギー188kcal、たんぱく質11g、脂質6g、炭水化物17g、カルシウム103mg、食塩1.2g

作り方

- ① 玉ねぎ、人参、じゃがいもを一口大に切る。
- ② 鍋に野菜類と水を入れて加熱する。煮立ったら豚肉をほぐしながら入れ、弱～中火で煮る。
- ③ 野菜類が十分に柔らかくなったら、牛乳とみそを加えて溶かす。
- ④ 煮立ったら、和風だし(顆粒)と長ネギの細切りを入れて火を止める
- ⑤ 汁椀に盛り付ける。
*味が薄い場合は、粉チーズをお好みで加えると、みそを追加するよりも低塩分で美味しくいただけます。

ポイント

沸騰時間が長くなると牛乳は加熱臭が発生して、みそは風味が失われます。

野菜や豚肉が十分に柔らかくなるまで煮てから牛乳とみそを加えて、その後は煮立て過ぎないことがポイントです。

清水町の食材の紹介

農業王国十勝の食料自給率はカロリーベースで1,100% (北海道全体では191%、日本では39%) です。晴天率が高く寒暖差の大きい気候、美味しい水と空気がある清水町では、栄養学的に優秀な食材がたくさん生産されています。当院でもぜひ「ふるさと給食」を実施したいですね!

- 牛乳…肉牛と乳牛合わせて約36,000頭(人口の約4倍!)飼育されており、生乳の年間生産量は十勝で一番多い約110,000万トンです。「63℃30分低温殺菌処理」という「手間と時間をかけた方法」で美味しい牛乳が作られています。
- 豚肉…飼育数は約6,500頭で、高度な衛生管理を行い健康に育った「安心、安全」な豚肉が生産されています。豚肉には糖質代謝に関与して疲労回復に役立つビタミンB1(ブタミンブーワンと覚えよう!)が多く含まれています。

平成30年度 新規採用職員紹介



池田 萌

2階病棟 看護師

- ①出身地 札幌市
- ②趣味・特技 散歩
- ③自身の性格 あがり症
- ④今後の抱負 仕事を早くしっかり覚えて、笑顔で働いていきたいと思
います。よろしくおねがいします。



藤澤 光

2階病棟 看護師

- ①出身地 網走市
- ②趣味・特技 映画鑑賞 (ハリーポッター大好き)
- ③自身の性格 恥ずかしがり屋
- ④今後の抱負 まだ何も分からない新人ですが、毎日少しずつ成長できる
よう頑張ります！ どうぞよろしくお願いいたします。



長谷川 千紗

2階病棟 看護師

- ①出身地 弟子屈町
- ②趣味・特技 バドミントン
- ③自身の性格 素直、マイペース
- ④今後の抱負 早く仕事をおぼえて戦力になれるように頑張ります。よろ
しくお願いします。



佐藤 茅乃

3階病棟 看護師

- ①出身地 網走市
- ②趣味・特技 音楽鑑賞
- ③自身の性格 控えめ
- ④今後の抱負 まだまだ知識が浅い状態ですが、わからないことは先輩に
積極的に尋ね、自ら進んで勉強をし、臨床できちんと働け
る看護師に成長していきたい。



猪狩 敬

3階病棟 看護師

- ①出身地 帯広市
- ②趣味・特技 バスケ、スキー、読書、音楽鑑賞、ゲーム、動画視聴
- ③自身の性格 飽き性で凝り性、新しいもの好き
- ④今後の抱負 よく聞き、よく考え、よく学び、よく実践して1日でも早
く1人前になれるよう頑張ります！

人事消息

【転入】平成30年3月23日付

職 員	氏 名	備 考
事務部 総務課 総務課長代理	大 川 浩 二	名古屋第二赤十字 病院 研修終了

【退職】平成30年3月31日付

職 員	氏 名	備 考
看護部 看護部長	佐 藤 美恵子	
診療部 第一内科部長	須 藤 隆 次	
看護部 3階病棟 看護係長	和 泉 奈 美	
看護部 2階病棟 看護師	田 村 浩 美	
看護部 2階病棟 准看護師	青 木 千 鶴	
看護部 3階病棟 看護助手	安 藤 有 紗	
事務部 医事課 主事	狹 間 なつみ	
看護部 外来 准看護師	永 井 喜 子	

【転出】平成30年3月31日付

職 員	氏 名	備 考
事務部 事務部長	林 裕 一	北見赤十字病院へ異動
事務部 事務部付 参事	熊 谷 吉 高	日本赤十字社北海道支部へ異動

【採用】平成30年4月1日付

職 員	氏 名	備 考
看護師	猪 狩 敬	※3階病棟に配属
看護師	池 田 萌	※2階病棟に配属
看護師	佐 藤 茅 乃	※3階病棟に配属
看護師	長谷川 千 紗	※2階病棟に配属
看護師	藤 澤 光	※2階病棟に配属
医師	佐々木 貴 弘	旭川医科大学病院 第三内科 4月～6月

【昇任】平成30年4月1日付

(新)	(現)	(現)
職 名	職 名	氏 名
事務部長	北見赤十字病院 事務副部長	矢 田 幸 政
看護部長	看護副部長 兼看護部看護師長事務取扱	大 沼 まゆみ
看護係長	看護師	旭 瑞 穂
栄養係長	管理栄養士	千 葉 早 苗

ちょっと部署紹介 ～臨床工学技術課～

臨床工学技術課は男性3名女性2名から構成され、地域医療の担い手の一員として血液浄化とME機器管理を中心に業務を行っています。

また医療技術が日進月歩で変化する中でも、患者目線を忘れることなく他部署との連携を大切にしながら、「安全な環境づくり」と「質の向上」に貢献することを課内の目標としています。

最近では学会発表を通じて「発信力」を養い、清水赤十字病院で学んだことを整理して新しい知識や技術を現場で還元できるように努めています。



編 集 後 記

雪解けがいきに進み春のいづきを感じる季節になりましたが、朝・夕はまだまだ寒い…。せっかく花開いた道端の福寿草もなごり雪をかぶり、花びらを閉ざしてしまいました。

看護部ではこの春、40年もの長きに渡り勤務された看護部長と5名の仲間が退職され、寂しさを感じていますが、4月にはフレッシュな5名のナースを迎えます。Re.Startですね。頑張っていきましょう！！

P.S. 3月の大雪で我が家のカーポートが崩落…自然災害はやっぱりこわい (泣)

(F・M)

